

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)彩都3街区物流センター新築	階数	地上6F
建設地	大阪府茨木市彩都はなだ	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	930 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2022年12月1日
敷地面積	38,543 m ²	作成者	扇澤 拓也
建築面積	16,841 m ²	確認日	2022年12月5日
延床面積	89,967 m ²	確認者	岡本 猛士



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
大阪府茨木市に建設される倉庫+事務所の計画である。遮音性の高い界壁、リフレッシュスペースの確保等により、執務環境に配慮しつつ、高効率の機器を採用する等、省エネ性能にも配慮している。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
遮音性の高い界壁、室内に吸音材を用いる等、音環境に配慮している。また、内装材はF☆☆☆☆を採用し、全館禁煙とする等空気室環境にも配慮している。	余裕のある天井高さやリフレッシュスペースを設けることで執務環境向上に、更新間隔の長い仕上材や配管材を採用することで耐用性向上に配慮している。また、階高や壁長さ比率に余裕を持たせることで、ゆとりのある計画としている。	景観届が出されており、全方位からの外観パース検証を行う等、まちなみに配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LEDなど高効率の機器を採用することで、BEI値の低下に貢献している。	省水型機器の採用による水資源の保護、リサイクル材の建材や再利用できるユニット部材(OA77)を採用することで、資源の保全に努めている。	燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。また、適切に駐車場を配置し、車両出入口の幅等に配慮することで、周辺道路の渋滞緩和に寄与している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0123

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)彩都3街区物流センター新築工事					
	建設地	大阪府茨木市彩都はなだ					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		